

友の会通信

2015
Vol.
32

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～



体験活動 「妙義の石と地層の観察会」

暑さもおさまり始めた9月21日(日)、「妙義の石と地層の観察」が参加者19名で行われました。秋風の中、博物館学芸員菅原先生のご指導のもと、中之嶽神社をスタートに観察会が始まりました。中之嶽神社周辺の地層の観察のため、轟岩に隣接した拝殿まで登ると、その裏手には目を引くとんがり岩がありました。「右側面はサラサラの岩で、それはマグマの通り道、正面はゴツゴツとした岩になっており、どちらも火山活動でできた岩石です」と…。岩石に疎い私でも解説をしてもらうことで理解することができました。その後妙義神社へ移動し、長い石段の本殿まで登り、大の字登山道入口付近の沢では安山岩を見つけ、説明をしていただきました。「黒っぽく粒状、柱状は単斜輝石、白くて長柱状は斜長石です」と皆さん手にして見ていました。その中でも目で見えるような大きな鉱物はどろどろのマグマの中ですすくと育った結晶であることも学びました。3時間の観察会でしたが、教えていただいた事を頭に入れ、山へ登る際は一つの石でも手にして、いろいろな角度から見てみようと思いました。(伊丹清美)



参加者の声抜粋

- ・ 皆さんとの会話がとても楽しかったです。(中野梓さん)
- ・ 火砕流でできた岩石はよかった。また、転石での説明は印象に残りました。(堀越友子さん)
- ・ 妙義はおもしろい形の山なので一度は先生のお話を現地で伺いたと思っていましたがそれが叶ってよかったです。(三友賢一さん)
- ・ 妙義は家も近く身近な所ですが、何も知識がなかったのでとてもよい機会でした。(新井綾実さん)
- ・ 妙義山の成り立ちなど、とても勉強になりました。(倉金由起子さん)
- ・ 大変わかりやすかったです。私の質問に全力でさわやかに答えてくれたのがうれしかったです。(宮本奈枝さん)
- ・ 先生の話聞き、高校時代の地学の授業を思い出し、懐かしかったです。(井上文雄さん)
- ・ よく妙義にくるので、妙義山のつくられた歴史がわかってよかった。(井上貴史さん)
- ・ 天気に恵まれ楽しい時間を過ごせました。お土産までいただきありがとうございます。(柳澤敬一さん)
- ・ 火砕流のあとと思われる岩がごろごろとしていて、何回も流れたことがわかってよかった。(中川きくえさん)
- ・ 半日という短時間でしたが、内容の濃い大変おもしろい観察会でした。(伊藤信枝さん)
- ・ 妙義の山がより一層身近に感じました。(浅見誠治さん)
- ・ 地層や石について小さいときに学校で教えてもらっていたかもしれないですが、すっかり忘れてしまっていたのでとても新鮮でした。(福島由紀江さん)
- ・ ていねいな解説がわかりやすく、お土産付きがうれしかったです。(倉金秀行さん)



友の会主催「県民の日イベント」



10月28日は群馬県民の日です。自然史博物館も無料で入館できるとあって、毎年お客さんが多数来館されます。そんな県民の日に、博物館友の会を盛り上げていくために、今年度友の会主催の体験イベントを計画し、実施してみました。内容は「化石の発掘体験」と「コケのテラリウムづくり」の2種類です。これからも、会員の意見を取り入れ、積極的に活動を行う友の会にしていきたいですね。

視察研修旅行 マリンピア日本海・新潟県立自然科学館



友の会視察研修旅行は、平成11年に茨城自然博物館で第1回目の研修以来、今年度で16回目になります。今回は11月9日(日)、参加者総勢45名で6:30に自然史博物館を出発。バスの旅を楽しみながら3時間30分ほどで最初の研修地「マリンピア日本海」に到着。まず、この館の目玉である、豪快なイルカショーを見学し、イルカの体や行動を楽しく学ぶことができました。その後、館内の「日本海大水槽」を中心に450種2万点にも及ぶといわれる魚類を足早に見学しました。昼食後、「自然科学館」へ移動。プラネタリウム「HAYABUSA 2」を見学、迫力ある世界がドームいっぱい展開し、波乱と感動が身近なものと感じました。富岡市とも関係の深いハヤブサであり、興味を一層引かれました。

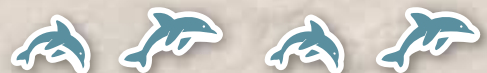
館内は生活・自然・不思議な広場などの分野に分かれ、触れて体験できるように工夫された楽しい科学館でした。両館とも見所の多い施設でしたので、もう一度ゆっくりと訪ね、観察や体験をしたいと思いました。素晴らしい実りある研修旅行に参加できたことに感謝いたします。(柚木郁)

参加者の声 (抜粋)



- ・ マリンピア日本海ではイルカショーでイルカの生態に関する解説を聞くことができました。新潟県立自然科学館ではプラネタリウムでHAYABUSA 2の迫力ある映像が見られました。どちらも一日かけてゆっくり見学してみたい所でした。とても楽しい一日を過ごすことができました。(倉金由起子さん)
- ・ 水族館も博物館もとても充実した施設で、子どもから大人まで楽しめる展示だったのでよかったです。広くて回りきれなかったのも、もう一度行きたいと思いました。楽しい一日でした。(倉金香菜子さん)
- ・ マリンピア日本海のイルカショーや種々のクラゲの展示室、とてもよかったです。自然科学館のプラネタリウムも良かった。楽しい一日を過ごしました。(福島淳子さん)
- ・ プラネタリウムが楽しかったです。星とハヤブサの話が楽しかったです。(高橋一太さん)
- ・ 親子でバスを利用するのは初めてでした。時間より早めに到着した際に見学時間を延長して見学したかったです。(高橋早苗さん)
- ・ HAYABUSA 2のプラネタリウムはこの視察がなければ見ることはなかったと思う。全体に子どもも楽しめる内容でよかったです。(藤井剛さん)
- ・ 家族で1日楽しい思い出をさせていただきました。次の機会を楽しみにしています。(藤井早苗さん)
- ・ イルカショーがよかった。HAYABUSA 2のプラネタリウムが楽しかったです。(藤井大輔さん)
- ・ イルカショーがよかった。(藤井桃子さん)
- ・ 自然科学館、見学するのが楽しみで、また行ってみたいと思います。(石原祥子さん)
- ・ 初めての参加でしたが家族でとても楽しく貴重な一日が過ごせました。(岩井由香さん)

- ・ 水族館とても楽しかったです。(岩井陽菜乃さん)
- ・ イルカショーが見れて楽しかったです。(岩井叶夢さん)
- ・ イルカショーがかっこよかったです。(本郷りょうさん)
- ・ それぞれの施設の概要を知り、体験するには適当なスケジュールだったと思います。(本郷穂さん)
- ・ 小さい子どもでも楽しめた。特に科学館はいろいろな体験もでき、興味を引かれる展示が多かった。(本郷美佳さん)
- ・ 新潟自然科学館は群馬の科学館+自然史博物館+恐竜センターのようでこんな施設があったらいいなと思いました。(木樽景子さん)
- ・ バスの中でも楽しめ、水族館なども楽しかったです。(木樽優輝さん)
- ・ イルカショーをいっぱい見られたからよかった。(木樽大輝さん)
- ・ 今年、各地の水族館に行ったので比較できてよかった。この日時間がなく、質問したかったことを手紙で出した所、早速返事を送り返してくれました。ありがとうございます。(三上金次さん)
- ・ 二カ所の施設に行くことができ、どちらも行ったことがなかったのでよかった。(中野梓さん)
- ・ 初めての参加でしたが、とても有意義な1日を過ごすことができました。(東田実さん)
- ・ マリンピア日本海ではイルカショーのジャンプがすごかった。自然科学館ではタルボサウルスの本物の下あごがさわられてとてもうれしかったです。(東田悠馬さん)





体験活動

冬越しの昆虫を観察しよう」12月7日



▲オオアヤシヤク (写真下、上は木の芽)

次はオオアヤシヤクの幼虫。この姿には驚きました。林先生に教えて頂かなければ、その見事な擬態ぶりは、コブシの樹の冬芽の、花芽の下にある葉芽にしか見えなかったからです。しかも冬の間にも芽を食べ成長し続けるとのこと。

クスギ・コナラ林には、幹にクスギカメムシの、食べて他種より早く成長できる栄養豊かなゼリー状の卵が見つかりました。枝に卵で越冬のオオミドリシジミ、ヒメヤママユを探していました。他にもカシアシナガゾウムシがよく見られるそうです。カギシロスジアオシヤクは残念ながら見つかりませんでした。写真で、冬芽とまったく見分けの付かない擬態の様子を教わりました。

林先生は、防虫成分を出すタブノキでは見つからなかったアオスジアゲハの透明感のある緑の越冬中の蛹と、輝くオオミドリシジミの成虫標本を別途用意して下さいました。(三友賢一)

先ず博物館二階で、高橋克之先生が西側の倒し窓を開けた途端、パラパラと落ちる物が、それが何と数百匹ものナミテントウの成虫とわかると参加者から歓声が。サシガメ等も居り、冬越しの姿がこれ程身近にあることに気がきました。その後、観察にふさわしい冬晴れの寒さの中、林正樹先生に案内頂き館の外へ出ました。

最初はヨコヅナサシガメの幼虫。桜の幹の洞に集団で寄り添い、赤い模様のうごめきが印象的でした。寒い中をゆっくり歩く様子も見られました。



▲クスギカメムシ



▲アオスジアゲハ

参加者の声 (抜粋)

- ・コナラなどの林の中に、意外と卵やさなぎの形で虫がいるのがわかった。(豊田雄平さん)
- ・動きのない昆虫をさがし出す人の目がすごいと思います。(倉金秀行さん)
- ・冬越しのテントウムシが意外な所でみられて良かった。(倉金由起子さん)
- ・身近な場所にもたくさんの虫が活着しているんだと思いました。(桐生佑介さん)



講師の高橋先生

- ・テントウムシが大量に窓から落ちてきたのは衝撃的でした。(桐生かおるさん)
- ・一番印象に残ったのはテントウムシ! 枯れ葉の下とかかと思いきや・・・。パラパラ降ってきてびっくりしました。(本郷美佳さん)
- ・テントウムシがよかった。(本郷りょうさん)
- ・アオスジアゲハの幼虫、美しい姿を見たのが印象に残った。(石原祥子さん)



講師の林先生



私が見つけた自然

「小休止それとも食事中？」



友の会会員からのおたより



「群馬の森」にて、キノコの撮影準備中に何かが頼りなく飛んできて足元に舞い降りた。付近を捜してみると「シオヤアブ」が自分より遙かに大きい(重い)カナブンを抱え、草の茎につかまっていた。

その後、十数枚のキノコを撮影し先ほどの「シオヤアブ」を見ると草にしがみついたまま動こうとしません。その様子を撮影しようとカメラを近づけてもよほど疲れていたのか? おかまいなしでした。(後に生態を調べていて思いましたが食事中であったかも?)

(26-199 北爪二郎)

◀「シオヤアブ」: ムシヒキアブ科 シオヤアブ亜科
甲虫やハエ、アブなど昆虫を捕食する。

Event イベント紹介

【友の会総会】 日時: 5月10日(日) 10:00~10:30

【友の会講演会】 日時: 5月10日(日) 10:45~11:45

内容: 「ペンギンもどきとは」

場所: 学習室
講師: 長谷川善和名誉館長



第48回企画展

「根も葉もない植物の話」

会期: 3月21日(土)~5月17日(日)

観覧料: 一般610円 高校・大学生300円

植物は根、茎、葉という単純な器官からできていますが、環境にあわせてどこが葉や茎かさえわからない形に変えたり器官を退化させる柔軟さがあります。皆さんも植物の多様で巧妙な姿を見てみませんか?



第49回企画展

「恐竜時代の海の支配者」

会期: 7月11日(土)~8月31日(月)

観覧料: 一般720円 高校・大学生410円

恐竜が陸上で栄えた中生代、当時の海も爬虫類が支配していました。この企画展ではアニメでも有名なフタバスズキリュウなどのクビナガリュウの仲間をはじめ、ギョリュウやモササウルスの仲間などを中心に恐竜時代の海にいた生きものたちの世界を紹介します。



標本所蔵: 独立行政法人国立科学博物館

友の会入会・継続のお願い

博物館への入館料が1年間無料!

その他の
入会特典は
次の3つです。

- ① ミュージアムショップの割引
- ② 友の会行事等への参加
- ③ 博物館からの情報配布

年会費

① 一般会員	3,000円
② 高・大学生	2,000円
③ 小・中学生	1,000円
④ 家族会員	5,000円
⑤ 賛助会員(1口)	10,000円

★現会員の方は、引き続き入会をお願いします。また、お知り合いの方に新規加入をおすすめいただければ幸いです。

私が見つけた自然 募集中

自分の身の周り、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録して、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館友の会へ封書またはメールでお送りください。日付と撮影場所をお忘れなく…。エピソードは簡単なコメントで大丈夫です。友の会通信で紹介させていただきます。なお、応募していただいた方に素敵な賞品をプレゼントいたします。



【博物館利用案内】

開館時間: 午前9時30分~午後5時(ただし入館は午後4時30分まで)

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
年末、その他(博物館ホームページでご確認ください。)

観覧料: 一般510円 高校・大学生300円 中学生以下無料
企画展開催中は特別料金(上記「イベント紹介」をご覧ください)

※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料

編集 後記

10月下旬、アイスランドへ行く機会があり北の果ての自然に触れてきました。首都のレイキャビクのほんの郊外ですが、木が全くなく、コケと丈の低い草だけの溶岩台地が広がっていました。昔は木があっただけで建物や船材としてみんな切ってしまったので、低温なこともあって全く回復していないとの話でした。一方、日本では空き地があれば、どんどん草が生え、草刈に追われる日々です。ほおっておけば、低木、高木へと遷移してあっという間に森になってしまいます。なんと恵まれた環境なのでしょう。この恵まれた日本の自然を感謝しつつ、大いに楽しんで学んで行けたらと思います。友の会がそのお役にたてたらうれしいです。(友の会通信編集委員 櫻井 昭寛)